

## 混ぜると何色？



大きな容器を手にする、赤を入れた後、隣の青を入れたひかるさん。



「みて！これできた」と保育者に教えてくれました。「これは紫だね。ぶどう色だ」と話していると、近くにいたゆいとさんとはるまさんも興味津々。



すぐに同じ容器に同じ色を入れてみたゆいとさん。「ぶどう色できた！」と嬉しそうに見せてくれました。



はるまさんは少し小さめの容器でしたが、上手にジャグを使いこなし、適量を入れて紫を作っていました。赤と青の分量が違ったようで、青紫のようでした。



その後ひかるさんは、青と黄色を混ぜて、緑も作っていました。「今度はどれを混ぜたの？」と聞くと、「あれとあれ！」と指をさして教えてくれるのでした。色が変わる不思議さをじっくりと味わえたようでした。

テラスに色水を用意すると気づいて遊びだした子どもたち。色水は黄色、青、赤の順に並べてありました。はじめは容器に一色入れて満足していましたが、次第に隣同士の色を混ぜて遊びだしました。紫色を作ったひかるさんを見て、ゆいとさんやはるまさんも挑戦。保育者が「どうやったらその色が出来たの？どれとどれを混ぜたの？」と声を掛けると「これとこれだった！」と教えてくれ、一緒に色の混ぜ合いの不思議さを楽しみました。